



幸樹

こう じゅ

第 86 号

2022 年 5 月 1 日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



『チューリップ』

絵・高橋 聖大

相手を助け、 自分も楽しむ 発明品づくりが 楽しい！

榛名佳代子さん（仮名、83 歳）は、ケアステーションゆずの訪問介護や福祉用具を利用されて自宅で暮らしています。いつも明るく、お話好きな方ですが、なにより生活用品の創造的な「発明家」です。（聞き手・介護福祉士 加藤義幸）

佳代子さんは 62 歳から発明品などの物づくりを始め、着物をリメイクした洋服なども 71 歳から制作されています。さらに、洋裁の基礎を学ぼうと 79 歳の時からカルチャースクールに通学しました。初めの 3 か月間、基礎だけをみっちり学ばれたそうです。

発明品は、どうしたら自分自身が便利に使えるかをよく考えて作ります。そして、発明した物のキャッチコピーを考えるのが好きで、キャッチコピーで商品の特徴、用途が一目でわかるように工夫しているそうです。たとえば、商品名「ミニポッケ」のキャッチコピーは「切符、カードが落ちないよ」です。「ミニポッケ」は、小物が落ちない小物入れで、選挙運動関係者に人気だったそうです。

閃いた時が気持ちいい

普段はボーと過ごされているとの事ですが、誰かが何か不自由を感じた時から考え始め、その解決方法が閃いた時が気持ちいいとのこと。そして、その閃いたものを評価、改善することで、より良い物になることがあります。例えば、誰のものか区別がつくようにと付けた目印が、デザインとしてもいい物となり、デザイン性が高まったこともあるそうです。

探求心が強いと自認していて、職人気質でもあり、これはと思った物はばらして型紙をとったりして、その物の構造を理解するそうです。それが、勉強になり物作りに活かされていくそうです。この材料、生地はどんな物に使えるかと考えることから発明が生まれることもあるそうです。また、商品に“おちゃめ”な部分を作ること、既存の商品と差別化をはかることができ、購入した人も他の人に見せる時に紹介しやすくなり、それが口コミで広がるそうです。

相手の必要を考え、自分の使い方も考え

普通、普段使いのバックにはポケットの多いものが多い、ブランド品のバックにはポッケが少ない傾向があり



ます。そこでバック内を整理するための用品を発明したところ、とても喜ばれ、これも口コミで広がったとのこと。

写真のバックの品名は「そこまでバック」です。「そこまでバック」は、ちょっとそこまでの外出の時に使いやすいようにと、ポイントになるミニポケットを付けています。写真では飴が入っていますが、本来は切符入れとして付けたとのこと。

佳代子さんは発明品に、相手が助かり自分も楽しめるアイデアを入れるように心がけています。「エッ！」と言われると楽しいとの事です。

相手のことを想像しサービスを提供していくという部分は介護の仕事にも通じるものがあります。私もよりよいサービスができるように想像力とひらめきを大切にしていきたいと思います。

地域交流カフェ

フラワーアレンジメントとお茶会



4 月 26 日、ご利用者と職員で域交流カフェを開きました。前日、ご近所の方からお花をご提供していただき、職員からもたくさんの花が集まりました。色と

りどりの花に、「きれいね」と声が上がりました。アレンジメントを 2 個、3 個と作っている方もいました。

お茶会では、五香にある和菓子屋さんで購入した 6 種類の練り切り菓子をお出ししました。「かわいいわね、どっちにしよう？」と迷われている方もいました。職員の着物姿も「きれいね」「とても素敵よ」と言って頂きました。写真は 4 頁にもあります。



（介護福祉士 宮田敬子）

2021 年度さんしょう運営推進会議のご報告

2021 年度のさんしょう運営推進会議は、昨年に引き続きコロナ禍のため、全て文書でやり取りする形で開催してきました。毎回、貴重なご意見、アドバイスを頂き感謝しています。この場を借りて、少しですがご意見をご報告させていただきます。

「コロナ禍でも楽しめる企画を実施されていて、ありがたい」「コロナの陽性者や疑いのある方が出た場合の迅速な対応は安心できた」「千羽鶴プロジェクトなど長期的な取り組みもあり参考になります」「『あなたが教えてくれたこと』を毎回、興味深く読んでいます」

年度末に事業所評価を行い、その結果を基に次年度への取り組みや方針を決定しています。幸樹会の理念である「住み慣れた地域で人生を全うする」支援をより良く実践できるよう地域の皆様、近隣の他事業所の方々と情報共有と連携を取りながら成長していきたいと思えます。(看多機さんしょう、所長・看護師 南雲朋子)

新入職員の紹介

作業療法士 川副 真弓

今年度4月1日に入職しました、作業療法士の川副真弓です。あんず訪問看護ステーションの一員として、リハビリをさせて頂くこととなりました。回復期病院での経験を活かしながら、学生時代から興味があった訪問リハビリができる事に、胸を膨らませています。入職してから利用者さんやご家族さん、職員の方々に優しく温かく話しかけて頂けてとても嬉しく思います。皆様に少しずつ感謝を伝えられるよう、リハビリや行動で示していけたら良いと思っています。精一杯頑張りますので、これからよろしくお願いします。



介護学生 ケイ・イチナン

出身は中国です。今年4月より入職しました。去年から日本に来て病院で介護に関する仕事を経験しました。その時に介護の仕事に興味が深くなって、今、介護福祉専門学校で勉強しております。ご利用者を安心させるような介護福祉士を目指して頑張っています。これからよろしくお願いします。



介護学生 グエン・カク・クイ・チャウ

ベトナムのダラット出身です。ダラットは花がたくさんあり、涼しいところです。

日本語が上手く話せるように、日本に来ました。日本にいるとき、介護の仕事に接して、興味を持って、介

護の勉強を決意しました。今、国家試験を目指し、心があたたかい介護職になりたいです。幸樹会で働き始めて1か月だけですが、先輩は優しく教えてくれて、毎日楽しく仕事をしています。もっと頑張ります。よろしく願いいたします。



ケアマネジャー



あんず居宅介護支援事業所

居宅介護支援専門員（ケアマネジャー） 田中 和世

自転車に乗り、訪問に出掛けると子供のころから私を知っているご近所だった方や学校の恩師、中学生時代の友人などと遭遇する事があります。声を掛けたり掛けられたり。私の夢だった生まれ育った地元で働くという事が今、幸樹会で叶えられています。

魅力一杯の仕事を地元で実現

今までケアマネジャーの仕事を通し何人もの利用者さんとお会いしてきました。お会いする時は、その方にとって人生の辛い時期である事が多いのですが、訪問した瞬間からご利用者、ご家族と一緒にその方の身体や生活の事を一緒に考え少しでもお役に立てる事があれば良いとの思いを持ち、日々訪問をしています。



早急な対応が必要な方であれば、その日のうちに訪問を行う事もあります。人生の辛い大変な時期が少しでも安楽な生活が出来る様にとの思いで伺います。

沢山の方との出会いを与えてくれているこの仕事には感謝の日々です。目の前の事を後回しせずに行っていく、今日に対して後悔のない日を送る、伝えなければいけない言葉をしっかりと伝えるという事を私自身、今年の目標にしています。仕事での目標に重なる部分が多いのですが、この目標を意識しながら前向きに色々な事にも挑戦をしていきたいと考えています。

介護の人出不足、ケアマネジャー不足と言われていますが、ケアマネは魅力いっぱい職業です。ご利用者やご家族から沢山の事を教えていただく事があります。ご利用者の健康状態が良かった時やご利用者やご家族の笑顔が見られたときや、相談を通じて信頼関係が築けたときなどは、仕事のやりがいを感じています。

幸樹会のケアマネジャーはご利用者と一緒に考え、一人一人を大切に、支援をさせていただいています。これからケアマネジャー目指している方 ぜひ魅力の多いケアマネジャーと一緒にいきませんか？



デンマーク便り...④

ラスムッセン 京子

すでにデンマークの市民生活は元に戻っていましたが、最近まで病院や老人ホームでは、マスクの着用が指示されていました。厚生省は4月28日、通達で医療や高齢者介護施設でのCovid 19の制限を撤廃しました。

これからデンマークでは、医者に行くときや老人ホームにいる大切な人を見舞うときに、マスクの着用が必要でなくなります。これは、保健局報道官のボレー・スポー (Bolette Søborg) 氏が通達を発表したプレスリリースに記載されている概要です。今、医療や高齢者介護の現場では、来訪者やスタッフがマスクを使用する必要がなくなり、より平常な状態へと移行しています。

ただし、風邪や咳など呼吸器系の症状がある人が医師や病院に行くときは、やはりマスクを使用することをお勧めします。

さよならマスク！・物価は高騰！

私にも、やっと完全に日常生活が戻ってきました。当直で患者に接触するのにマスク着用が義務付けられていましたが、その必要はもうありません。これでマスクをしていて眼鏡が曇って超音波のスクリーンが視にくいなどという事がなくなります。超音波を使ってカテーテルなどを挿入する際、眼鏡が曇って本当に参っていました。当然、未だ稀にCovid 19の疑いのある患者さんが検査に来られれば、話は別ですが。



放射線科医である私の毎日の仕事の多くは、部屋の暖房がそれほど利いていないので、うすら寒くそして薄暗い読影室で診断書を書くことです。恐らく天然ガスの高騰で暖房を節約しているのだと思います。

私のコペンハーゲンのアパートの電気料金も2倍近くになりました。2部屋55平方メートルのアパートにTVもなく、洗濯機、掃除機は毎日使用することはありません。それに冷蔵庫位だけです。一年前の4月は350kr(7000円)くらいでしたが、現在は780kr(14400円、1kr=18.4円)くらいです。一月の電気代で電熱器の使用はしないのでとても信じられない価格です。この冬の暖房費は、調整期に追加金を徴収されると思います。年間一律で毎月560kr(10300円)支払っています。基本的な支出が増加しています。

ともかくインフレの影響を感じる毎日です。乳製品など50%ほど値上がりしています。デンマークの物価は早足で上がりつつあります。世界的な新型コロナウイルス感染流行・Covid 19、そしてロシアのウクライナ侵略が原因ですが、なかなか解決が難しい問題です。

2022 年度幸樹会職員全体会議を開きました(4/7)



今年度は、「良くする介護」、「元気になる」「いきがいのある生活」を支援することを目標に、ケア事業をより改善し、前進させたいと思います。

重要な課題は、「計画している2カ所目の看多機開設事業を実現させること」「あらゆる業務を理念にそって、アセスメント・評価を適切に行い、計画(P)、実践(D)、評価(C)、改善(A)のサイクル循環を意識して実践し、その方法を全職員が身につけること」「仕事を合理的に行い時間外業務の削減を実現すること」「安定した経営のための具体的実践を行うこと」等です。

地域交流カフェの写真



八柱学習会

▼次回学習会予定 (「定例日：毎月第3金曜日」)
5月20日(金) 18:30～、幸樹会館2階
「地域ケアの変遷と未来」

1975～2020の時代体験と実践から語る⑥

お話・武井幸穂氏

《参加自由》

今月の屋上太陽光発電量は、

1, 258KWh

幸樹会館電力使用量 4925KWh 自給率 25.54%



職員募集！ 非営利・働きがいある職場 看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550